



地区補助金事業・報告書

福山丸之内ロータリークラブ

■プロジェクト名

『広島県特定非営利法人「あいあい広場」の連絡通路にスロープを寄贈』

■プロジェクト概要

障害福祉サービス事業所「あいあい広場」の作業所と食堂の連絡通路における段差解消の為にスロープを寄贈するプロジェクト。

同作業所へは2010年7月に社会奉仕活動の一環である『七実栗募金』の寄贈・交流会にて訪問。段差解消の必要性を認識し、施設職員の方々の意見を伺いつつ現地調査を行う。

2010年12月21日「あいあい広場」にて、通所者の方、そのご家族、施設職員の方々と一緒にスロープの贈呈式を行う。



リングブルの贈呈



七実栗募金にて通所者の皆さんと一緒に



『七実栗』



現地調査にて段差を確認



段差解消スロープの設置



お礼のくす玉

経済レポート 2011年1月1日

福山丸之内ロータリークラブ「福山丸之内R.C.」福山市三之丸町8-16、片山弘雄会長、電話084・927・52022は、障害を持つ人への支援を行う施設・NPO法人あいあい広場（同市神辺町徳田1848、正置耕太郎施設長、電話084・962・3455）との交流を通してボランティア活動の強化を行っている。社会奉仕委員会（藤井博一委員長）が中心となり、11月に同施設作業所の段差を解消するためのスロープ、12月に同施設の就労支援事業で行

同施設と同R.C.との交流は、2年前に行なった、縁起が良いとされている1つのイガに7つの実が入っている栗にちなんで開始した。スロープはロータリークラブの補助金制度を利用して2010年秋に承認を受けて設置。作業形態の変化に柔軟に対応できるように素材はネジを外すことで移動が容易にできるステンレス製、場所を取らないように傾斜は14度

とした。リングブルは専用回収カップを同R.C.会員間で勤務先などに設置して回収した。藤井担当委員長「写真左」は「移動が容易にできることで作業効率が上がるので、利用者の方の働く喜びが増え、くれは嬉しい。リングブル収集は回収カップの設置場所を増やし、今後は様々な福祉施設への寄付につなげていきます」と話し

あいあい広場との交流を通して福祉活動

スロープ・リングブル寄付
福山丸之内R.C

